



令和3年度 植田東中学校だより No.19

2022/1/11

HIGASHI

発行者

校長 西内英理

明けましておめでとうございます。

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。
オミクロン株コロナウイルスがはびこりそうな気配の中、本日、3学期をスタートしました。本校においては、引き続き、コロナ感染症の拡大状況を注視しながら、生徒の健康安全を最優先に教育活動を展開してまいります。場合によっては、学校行事等の急な変更もあるかもしれませんが、保護者の皆様には様々な面でのご理解とご協力をお願いいたします。

さて、本日の始業式で、子どもたちには次のような話をしました。

[まずは、冬休みの自分の生活を振り返り、10点満点で自己採点してもらいました。]

「1年の計は元旦にあり」と言われる。「新年の目標や計画は、元旦に立てるべきであり、何事も始める時には、きちんとした計画をたてなくてはならない」という意味。2学期の終業式でも話したように、次のことをこの3学期に取り組んでほしい。

- ① 目標に向かって、きちんとした計画を立て、
- ② それを確実に実行する努力をし、
- ③ 節目節目で成果と課題を明らかにして、
- ④ 改善点をはっきりとさせて、その克服のために確実に実行する。

このことを通して、自分自身を高め、成長させる努力をしてほしい。

毎年お正月には箱根駅伝が行われる。この箱根駅伝、各チームで走れるのは10人。しかし、各学校では走れない学生のほうが圧倒的に多い。その走れない部員の活躍が駅伝の成績に大きく関わる。日頃からマネージャーとして部全体の世話をしていたり、大会当日の走路員や給水係としてがんばったりして、チームの勝利のために陰の力として関わっている。

選手になれなかった学生も走りたい気持ちは人一倍あるはず。その自分の気持ちを抑え、チームのために気持ちを押し殺して本気になって活動している。また選手も、彼らの存在と努力を認め、感謝と尊敬の念を持って接している。選手も選手になれなかった学生も、一体となって大会に臨んでいるところに、箱根駅伝の素晴らしさを感じる。

この選手とそうでない学生の在り方に、集団生活をよりよくするヒントがある。集団の発展のために、全員が真剣になって努力すること。がんばる人を心から認め、応援し、支えようとする。自分を応援してくれる人たちに感謝し、別な機会には恩返しをすること。これらを通して、素晴らしい集団生活が育まれていく。

3年生は、いよいよ大切な時期。進路実現に向けて努力を惜しまないでほしい。体調管理が最も重要。体の調子を見ながら、やる時はやる、休む時は休むのメリハリが大切。

2年生は、3ヶ月後には最上級生としてのスタートを切り、この植田東中の中心となっていなければならない。そのための覚悟と準備をこの3学期に怠らないでほしい。

1年生は、この3ヶ月で態度や行動はもちろん、内面も先輩としてはずかしくないように気持ちの面で、先輩として、ひとりの大人として自分を高める3ヶ月にしてほしい。

2学期の終業式にお話した「自己マネジメント」をしっかりと、皆さんひとりひとりが大きく成長できる3学期になることを期待している。